



# 教育支援室だより

## 「画竜点睛」

教育支援室 室長 甲野 正人

年明け早々、能登半島地震や航空機の衝突事故等、痛ましいニュースが続きました。被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。苦難のスタートとなった令和6年ですが、実り多き年になることも祈りたいと思います。

さて、年が明け、教育支援室がスタートして10年という節目を迎えました。この10年間、様々な事業の改善を進めながら、相談活動を地道に取り組んできました。今年は、これまでの取組をふり振り返りながら、新たな10年のスタートに向け、更なる充実を目指したいと思います。

ところで、今年の干支は辰（龍・竜）です。「画竜点睛（がりょうてんせい）※1」の故事成語のとおり、様々な活動（画竜）の中で、「子どもたちの輝く瞳の実現（点睛）」を意識して頑張っていきたいとも思っています。今年も、関係者の皆様の御協力と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、教育支援室の今後の取組について、皆様からの御意見を心よりお待ちしております。



※1 「画竜」は「竜の絵」、「点睛」は「瞳を描くこと」。つまり「画竜点睛」とは、「竜の絵に瞳を描き入れること」を表し、瞳を描き入れることは絵に表情を与え、魂を吹き込むようなもの。そのことから「最後の仕上げ」を表す熟語として使われている。

## ペアレント・トレーニング 第三期生修了

一昨年度からスタートした「ペアレント・トレーニング」ですが、本年度(三期目)のトレーニングが終了しました。「ペアレント・トレーニング」は、子どもとのよりよいかかわり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てできるよう、プログラムを通して学習することを目的としています。講師に宇都宮千夏先生(公認心理師・臨床心理士)をお迎えし、4名の保護者が全7回の講義を受講されました。回を重ねるごとに、受講者の皆さんの笑顔が増え、子育てに悩みながらも前向きに取り組まれる姿がありました。今回の4名は第三期修了生となります。来年度6月に、第一・二期生と合同のフォローアップ研修を実施する予定です。



## SST夏休みイベント「クレイセラピー」の作品ができ上がりました!

昨年の7月、「クレイセラピー」を行いました。毛利希先生・井上祐子先生を講師に迎え、親子10人が参加しました。今年は、赤、水色、緑、白などの色粘土を使って、手回しろくろによる作品づくりに挑戦しました。皿や湯飲みなど個性ある作品ができました。作品は毛利先生が持ち帰られ、釉薬を塗り、窯で焼いていただきました。下の写真は、後日届いた完成作品です。どの作品も世界で一つだけのすてきな作品となりました。作品を受け取りに来られた参加者の皆さんからは、「焼き上がったら別物みたい。」「とてもきれいにできた。」「ぜひ使ってみたい。」という声と笑顔がこぼれました。



## 今年度の教育支援室活動状況(12月末現在)

### 【支援室相談事業】

○ 電話相談	354回
○ 来室相談	93回
○ 訪問相談	399回
○ 巡回相談(保前・幼稚園等)	101回
○ 発達検査	35回
○ カウンセリング	38回
○ 放課後等療育支援	19回
○ ペアレント・メンター個別相談・カフェ	11回



### 【いじめ・不登校、特別支援等の実態把握】

○ 定期学校訪問	32回
○ アンケート調査及び結果の分析・公表	1回
○ 市・各ブロックいじめ対策委員会	10回
○ 発達障がい支援アドバイザー学校訪問	36回

### 【療育・教育相談】 (1月末現在)

講師 桑原 綾子 先生(ここはうす副理事長)	2回6組
講師 幸田 裕司 先生(教育支援室SSW)	3回9組
※ 次回 3月4日(月) 13:30~ 講師(桑原先生)	

### 【発達支援に関する講演会】11月19日(日) 参加者 68人

演題 「発達や愛着形成に課題のある子どもへの関わり方」  
講師 松久 眞実 氏(桃山学院教育大学 教授)

### 【学校生活支援員新任者等研修会】4月3日(月) 参加者 9人

### 【学校生活支援員研修会】7月24日(月) 参加者 50人

講話 「発達特性のある子どもの可能性を引き出す支援の在り方~OTの視点からのアプローチ~」  
講師 三澤 一登 氏(愛媛十全医療学院 顧問)

### 【市教育相談員等研修会】7月26日(水) 参加者 12人

演題 「不登校生徒の自立に向けた支援を考える」  
講師 藤原 聖也 氏(帝京第五高等学校 教諭)

### 【SST(ソーシャルスキルトレーニング)】

○ 学校・生活・スポーツスキル	3回 43人
○ アートセラピー(レインスティック)	1回 8人
○ クレイセラピー(信楽焼)	1回 10人

### 【ミュージック・ケア】(音楽療法) 4回 27人

※ 次回 2月3日(土) 10:00~

### 【にこにこみかんトーク】(保護者座談会) 3回 14人

### 【きりんカフェ】4回開催 ※次回 2月21日(水)10:00~

### 【ペアレント・トレーニング】(全7回) 4人

### 【ペアレント・メンターフォローアップ研修】 1回(9/16)

## 「きりんカフェ」のご案内

(登校しづらいお子さんを持つ保護者の会)

お子さんが登校を渋り、休みがちになって悩んでおられる保護者の皆さん、「きりんカフェ」に参加してみませんか。お子さんの成長の岐路に立つ進学や進級を前にして、本人はもちろん、保護者にとっても新たな心配や不安があるのではないかと思います。気軽にお話しませんか。ご参加をお待ちしています。



- 1 期 日 令和6年2月21日(水) 10:00~11:30
- 2 会 場 八幡浜市役所保内庁舎1階 教育支援室
- 3 申込み 当日までに、電話またはメールでお申し込みください。

TEL: 21-6864 Mail: sien1@yawatahama.ed.jp

## 発達支援に関する講演会「松久 眞実 氏（桃山学院教育大学 教授）」

11月19日(日)、ゆめみかんサブホールで松久眞実氏(桃山学院教育大学 教授)をお迎えして、発達支援に関する講演会を実施しました。「発達や愛着形成に課題のある子どもへの関わり方」の演題のもと、知的・発達障がいの理解と支援の在り方について、具体的な事例を織り交ぜながらお話をしていただきました。講演では、松久先生が大学の講義と同様に受講者の中に入りながら意見を求めたり、会話したりするなど、受講者一人一人とふれ合いを持ちながら話を進められました。参加した保護者、教員、相談支援関係者、事業所関係者、行政関係者など68名は、松久先生の話にどんどん引き込まれ、知的・発達障がいの理解と支援の在り方について多くのことを学ぶことができました。とても楽しく、分かりやすい講演で、あっという間の2時間でした。



以下に、受講者の皆さんの感想の一部を紹介します。

- 体験を交えながら、具体的に話してくださって、分かりやすくとても楽しかったです。子育ての参考になりました。関わり方や声かけなど、気をつけていきたいです。もっと話を聞きたいと思いました。(保護者)
- 結果をほめるのではなく、努力の過程をほめてあげる支援が大事だということが、心に残りました。家庭でも今回学んだことを取り入れていきたいです。子どもとの関わりを見直すよい機会になりました。ありがとうございました。(保護者)
- 身近にいる子どもたちへの関わり方をよく理解することができました。発達特性などを改めて知ること、明日からのそれぞれの子どもへの関わり方、自分自身の考えを変えてみながら、また一人ひとりと関わっていこうと思います。(教員)
- 具体的なお話を交えながらの講演会でしたので、とても分かりやすかったです。本人の困り感、親の育てにくさと教員の指導、支援のしにくさに繋がっているという感想を持ちました。本質が見えてないと、理解していないと、表面上の関わりでは、良い方向に向かわないのかなとも思いました。良い講師の先生を招いていただき感謝です。お世話になりました。(教員)
- とても分かりやすい講演でした。実際に経験されたことを踏まえてのお話だったので、頭の中にスーッと入り、ストーンと心に落ちました。子どもの不安を理解してあげながら、少しでも安心して過ごせる関わりができればと思いました。(相談支援関係者)
- 一つ一つ、今の職場であてはまるが多かったです。特に児童養護施設の子の言動には、ハッとさせられることが多々ありました。今日の子育てを一つの教訓として、仕事に取り組んでいきたいです。(事業所関係者)

## 楽しく学んだSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)

SSTでは、発達に支援の必要な子どもたちが、苦手を克服し、やる気を引き出す活動を経験しながら必要なコミュニケーション能力を身に付けていくことを目指しています。本年度は、6回の開催を計画していましたが、大雨警報発令のため7/1(土)のSSTが中止となり、次の5回の活動となりました。

- ① 5/27 生活スキル                      ② 7/31 クレイセラピー
- ③ 8/17 アートセラピー                ④ 8/25 スポーツスキル
- ⑤ 10/28 生活スキル

コロナ下で、対策を工夫しながらの実施でしたが、参加者全員が楽しみながらスキルアップを目指した活動になりました。

参加者及び保護者の皆様方、スタッフとしてご協力いただきました先生方、誠にありがとうございました。今後も、より充実した活動になるよう努力してまいりたいと思います。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

第5回生活スキル「自転車の乗り方と交通安全:」の様子



## 増加傾向にある支援を要する子どもや、家庭・学校をサポートしていきます。

教育支援室(保内庁舎1階) 困ったことがあったら、いつでもご相談ください。

- |   |   |
|---|---|
| ☆ 電話相談・来室相談(八幡浜市教育委員会教育支援室)<br>☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00            | ☆ 八幡浜いじめ110番(八幡浜市教育委員会教育支援室)<br>☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00       |
| ☆ 警察安全相談(八幡浜警察署)<br>☎ 0894-22-0110 24時間受付                               | ☆ いじめ相談ダイヤル24(愛媛県教育委員会)<br>☎ 0120-0-78310 24時間受付                    |
| ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル(厚生労働省)<br>☎ 189(いちばやく) 児童虐待通報電話 24時間受付                  | ☆ こどもの人権110番(法務局)<br>☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15                  |
| ☆ こども電話「ひびき」(チャイルドライン ハートコール・えひめ)<br>☎ 089-917-7797 5と0の付く日 16:00～21:00 | ☆ 18歳までのチャイルドライン(チャイルドライン支援センター)<br>☎ 0120-99-7777 まいにち 16:00～21:00 |
| ☆ やわわはま元気ノート(児童生徒のタブレット端末を利用したセルフチェックとSOSなんでも相談の実施)                     |   |